



社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会 広報誌

笑顔あふれる支え合いのまち なは



この広報誌は、共同募金の配分並びに皆様からの
社協会員会費により作成されています。

No.177 令和4（2022）年

社協 ^{naha} だより 9 月号



市民を支えあう仲間たち



Facebook・Twitter
やっています！
チェックしてみよう！

なは社協

70th

特集

もくじ

社協 70 周年特集

市民を支えあう仲間たち… 1

CSW の仕事紹介 …… 2

敬老月間

老人福祉センター憩の家… 4

地域ふれあいデイサービス

活動アラカルト… 6

特例貸付について… 7

相談窓口

赤い羽根募金箱… 8

お知らせ



那覇市社会福祉協議会

<http://www.nahasyakyo.org>



那覇社協 地域づくりの歩み

2008年(平成20年)

ふれあいいきいきサロン事業 スタート

「ひとり暮らしだと一日誰とも話さないなあ。近所で気軽に
おしゃべりできたらいいのに」という声が多くあること
を背景に、身近な居場所づくりとして、事業がスタート。
※2022年現在 70 か所のサロンが活動中です。

2009年(平成21年)

緊急医療情報キット配布事業スタート

健康上不安を抱える高齢者及び障害者に対し、かかり
つけ医療機関情報、持病等、緊急時に必要な情報を保管
する緊急医療情報キット配布事業がスタート(緊急時及
び災害時に迅速に対応ができる事を目的としています。)

CSW ってなあに?

(コミュニティソーシャルワーカー)

生活する上でちょっとした困り事や福祉課題を抱えている人の相
談に応じて、問題解決に向かうためのお手伝いをする『個別支援』
と、子どもから高齢者まで、みんなが、住み慣れた地域で安心して
暮らせるよう、地域の人を巻き込みながら見守りや支え合いの
ネットワーク作りを進める『地域支援』を行っています。



2010年(平成22年)

地域見守り交流事業スタート

引きこもりがちな方々を地域の身近な場所
にお招きし、会食を楽しみながら住民同士の
繋がりを広げる事を目的に実施しています。

地区コーディネーターモデル配置(CSWの前身)

これまでの地域支援を通して住民ニーズに対応したきめ細やかな小
地域活動を推進するために、ボランティアセンター事業の中に 4 行
政毎の地区コーディネーター配置モデル事業がスタート。与儀市場通
り、宇栄原団地、大名第 2 団地、真地団地をモデル地区とし一人で
抱えていた問題をみんなで進めていく仕組みに変わり始めました。

アシスト収集モデル事業

高齢者又は障害者で、一般家庭ごみを自ら一定の場所まで持ち出す事が出来ない
方にクリーン推進課と社協が連携し市の収集員が通常業務終了後の午後に個別訪
問でごみの収集を行い、声掛けによるアシスト収集モデル事業として始めました。
その後一定の成果をあげ、新たな安否確認として事業化されました。

2011年(平成23年)

歳末見舞い激励金事業

民生委員が日頃から気にかけている世帯や地
域で何らかの事情により生活に困っている世帯を
対象に、楽しい年末年始を過ごしてもらうため歳
末たすけあい募金から見舞金を支給しています。

2014年(平成26年)

安心生活創造推進事業を 那覇市より委託(CSWを8名を配置)

住民同士の関係性の希薄化が進む中で住民の持つ多様なニーズ
や生活課題に柔軟に対応できるよう、地域住民のニーズ・生活課
題の把握、住民主体の活動支援・情報発信、地域コミュニティを
形成する居場所づくり等、地域福祉懇談会や四者意見交換会を通
して多様な担い手が連携する仕組みづくりを行いました。

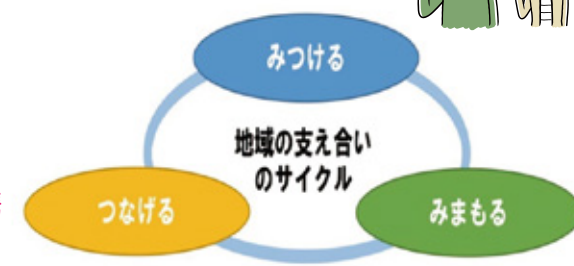
(例) 市内自治会単位等に【地域見守り隊】の設置を促していく事を目標としています。
認証第1号 宇栄原団地見守り活動きずな地域見守り隊結成から 2022年現在 54カ所結成

1. ニーズの早期発見
サロン、ふれデイ、個別訪問等で **みつける**
2. 支え合いで安心感を育む
近隣住民と **見守る**
3. 日々の安否確認 近隣の助けあいと民生委員児童委員等との連携
支援が必要であれば専門機関へ **繋げる**

2012年(平成24年)

地区コーディネーター配置 (現 CSW の誕生)

少子高齢社会を反映して、地域の見守活動が重要視され
ていく中で、ボランティアセンターとは別に社協活動の要と
なる地区コーディネーターを配置。地域社会での生活課題
を拾い上げ関係機関との連携構築について、個別支援と地
域支援の一体化支援が始まりました。



老人憩の家・老人福祉センターの 講座・同好会活動に 参加してみませんか？



今からでも参加可能な同好会を少しだけ紹介します。一緒に楽しみましょう！！

同好会
メンバー
募集中！！



サンバ



琉球ビクス



和太鼓

小禄老人福祉センター

大正琴・野村流三線・ペン習字・書道・和太鼓・絵画・手話ストレッチダンス・サンバ・琉球ビクス



民謡三線初級講座



男性のための筋トレ&
ストレッチ筋力トレーニング

識名老人福祉センター



レク体操

レク体操・民謡三線初級・大正琴・操体法・書道・男性のための筋トレ&ストレッチ筋力トレーニング
琉舞・日舞・ノルディックウォーキング・グラウンドゴルフ・ヨガ・古典音楽・古典初級・民謡



エアロだんす



社交ダンス

金城老人憩の家



民謡

民謡・日舞・フォークダンス・三線・エアロだんす・書道・墨絵・社交ダンス・いけばな
ハワイアンフラ・エンジョイエクササイズ・デジカメサークル若竹・グラウンドゴルフ・ボウリング

老人憩の家・老人福祉センターは、市内に居住する 60 歳以上の方々が健康の増進、教養の向上、レクリエーションなどに活用できる総合的な場所を提供し、健康で明るい生活を送ってもらうための施設です。

施設名	所在地	電話番号
末吉老人福祉センター	那覇市首里末吉町 2-14	098-886-3510
壺川老人福祉センター	那覇市壺川 2-3-11	098-853-1139
★小禄老人福祉センター	那覇市小禄 5-4-2	098-857-7365
★識名老人福祉センター	那覇市識名 2-5-5	098-854-7877
辻老人憩の家	那覇市辻 2-14-1 (辻市営住宅内)	098-864-0580
★金城老人憩の家	那覇市金城 3-5-4 (那覇市総合福祉センター内)	098-859-0099
安謝老人憩の家	那覇市安謝 2-15-1 (安謝福祉複合施設内)	098-862-4341



小禄老人



識名老人



金城憩の家

【利用時間】10 時～17 時 ※金城・安謝老人憩の家は 10 時～18 時

各老人福祉センター・老人憩の家では講座や同好会活動を行っています。

詳細は各施設へお問い合わせ下さい！

★の施設は那覇市社会福祉協議会のホームページで行事予定表をご覧ください。（担当：金城）



社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会 創立70周年記念 第10回 地域ふれあいデイサービス敬老の祝い

日時 令和 4 年 9 月 29 日(木) 14:00～16:00

場所 パレット市民劇場(パレットくもじ 9 階)

内容 敬老月間の定例行事として、市民の健康長寿祈願と、
支え合いの「福祉のまちづくり」の機運を高めることを目的に開催します。
①卒寿表彰(新 90 歳) ②10 年ボランティア表彰 ③開所 20 年地域 表彰

ゲスト 護得久 栄昇

主催 社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会

共催 那覇市(ちゃーがんじゅう課)地域ふれあいデイサービス運営協議会様 他

後援 那覇市自治会連合会・那覇市民生委員児童委員連合会・那覇地区老人クラブ連合会・マスコミ各社(申請中)

※コロナ感染状況により、中止になる場合がございます。その際は、ホームページ等でお知らせいたします。



第一生命保険株式会社 様より 「コグニ体操の DVD」の寄贈 那覇市地域ふれあいデイサービス



去った 7 月 20 日、第一生命保険会社様より、地域の皆様へ役立ててくださいとのことで、コグニ体操 DVD の寄贈がありました。コグニ体操とは、コグニション(認知)と、エクササイズ(運動)を組み合わせた「コグニサイズ」に音楽を付けた、新しい認知症予防体操です。今後、市内 126 か所のふれあいデイサービス各運営協議会に配布し、地域の皆様の健康づくりに寄与していきます！（担当：山城）



太陽食堂オープン 居場所・ボラサロンに

空き家を活用した子どもの居場所「太陽食堂」(壺屋 1-1-14)が7月25日にオープンしました。那覇社協創立70周年事業の一つに位置付け、社協職員やボランティア、市民団体と連携しながら子どもの居場所・ボランティアサロン・地域交流拠点として運営していきます。

活動は平日午後2～6時に飲み物やおにぎりなどの軽食を無料提供することも食堂活動と、2階では学習支援や遊び場づくりを予定しています。

建物は「アートマン計画事務所」の建築プランナーの岡本賢智さんが新しい地域貢献活動として提案、無償提供してくれ、開所セレモニーでも「オープンスタート。子どもたちがいつでも食事ができて、地域の人に会える場にしていきたい」とエールを送ってくれました。みんなの憩いの場、想いをカタチにできる地域づくりのモデルになれるように頑張りたいと思います。(担当・浦崎)



三者で協定 郵便局でフードドライブ開始

7月12日(火)に、日本郵便沖縄支社・那覇市・那覇市社協の三者で子どもの貧困対策に関する協定を締結し、郵便局窓口でのフードドライブ(食品の寄贈受付)が始まりました。

フードドライブとは、家庭で使いきれない食べ物等を地域の福祉団体などに寄付する活動のことです。住民のみなさまが最寄りの郵便局に設置している「フードボックス」に食べ物を持ち寄っていただき、いただいたフードは子どもの居場所や居場所を通して必要な世帯で使用されます。

沖縄県の17歳までの子どもを持つ家庭のうち23.2%が「困窮世帯」にあたります。貧困対策として、地域に根差した郵便局という強みを生かし、フードドライブの取り組みを行うことで子どもの居場所を支援し、地域の発展・活性化の一助となるよう取り組んでいきます。

日本郵便沖縄支社はこれまでに11か所の市町村と締結を結んでおり、今回の那覇市との締結で12か所目となりました。

今回は貧困対策としての取り組みですが、子どもの居場所は貧困の子どもだけではなく誰でも利用できるような場所です。近くに住んでいる地域のみならずみなさんもぜひ遊びにきてください。(担当：山城)



▲締結式の様子



紹介ホームページ▲



沖大でボラ養成講座 学生約70人に

はいた〜い!今回は、那覇市ボランティア・市民活動センターが7月5日に沖縄大学で開いたボランティア養成講座の様子をお伝えします。

福祉文化学科2年次の学生約70人が授業の一環で、ボランティアの心得や活動事例を学んだほか、私が代表を務める学生ボラ団体「沖大ぼらさぽ」の活動を紹介しました。グループワークでは、「自分の強みを生かしたボランティア」や、「ボランティアを始めるまでの手順」などで意見を交わし、講義終了後も、学生からたくさんの質問が寄せられました。ボランティア活動を身近に感じてもらい、どんな活動でもボランティアになることを伝える機会になりました(^^) (担当：石井)



特例貸付資金(緊急小口資金と総合支援金(初回))について

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で、一時的な生活資金にお困りの方に向けた**緊急小口資金(20万円以内)**及び**総合支援資金(生活支援費)(20万円以内×3か月)**の特例貸付を実施しています。那覇市は沖縄県内に占める貸付割合が約28%と高い水準となっています。それだけ新型コロナウイルス感染症の影響を受けて減収となった市民が数多くいる事がわかりました。新型コロナウイルス感染症の影響で減収になり生活にお困りの方は活用下さい。申請期限は両資金とも**令和4年9月30日(金)必着**となっています。

【問い合わせ先】
098-857-7766(代表) 午前9時～正午・午後1時～4時

緊急小口資金

- 貸付上限額：20万円以内
- 据置期間：1年以内
- 償還期限：2年以内
- 貸付利子：無利子
- 保証人：不要

総合支援資金(初回)

- 貸付上限額・単身世帯：月15万円以内
・(2人以上)世帯：月20万円以内
- 貸付期間：原則3月以内
- 据置期間：1年以内
- 償還期間：10年以内
- 貸付利子：無利子 ●保証人：不要

**両資金とも
申請期間
令和4年9月末
まで延長**

なは社協 相談窓口のご案内

ふれあい福祉相談室 ☎ 857-7780
生活上の心配ごと、悩みごと、どのようなことでも気軽に相談できる一般相談・司法書士相談があります。
(秘密は厳守で相談は無料です)

生活福祉資金貸付事業 低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者の属する世帯に対する資金貸付

司法書士専門相談 毎月第2金曜日/午後2時～4時 **予約制**
弁護士専門相談 奇数月第4金曜日/午後2時～4時 **予約制**

ボランティア活動・行事用保険 ☎ 857-7766
ボランティア活動・行事用保険は、ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや賠償を補償します。

デイサービスあしびなー ☎ 080-1739-1355
利用者の方々が住み慣れた地域から通い、日々、生きがいのもてる暮らしを応援し、ご家族の身体的、精神的な負担を軽減します。

障がい者生活支援センター「ゆいゆい」 ☎ 891-8454
FAX.857-6052
在宅で生活する障がい者が「自分らしく」暮らしていけるように支援をしています。

●ピア(同じ仲間)サポート ●サービス利用計画の作成

地域福祉権利擁護センター ☎ 857-4525
FAX.857-6052
日常生活自立支援事業
認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者などで、自分で判断することが難しい方々の福祉サービスの利用手続きや、医療費・公共料金の支払い等の日常的な金銭管理のお手伝い、書類の預かりサービスを契約に基づいて行っています。

☎ 891-8236
FAX.859-8388
居宅介護支援事業
安心して在宅生活が営めるように、家族、医療、介護保険サービス事業所等と連携を図ると共に、社会資源を活用しながら支援を行ないます。

☎ 859-8383
FAX.859-8388
ホームヘルプステーションわかば
ご自宅に介護専門職が訪問し、身体介護及び生活支援サービスを提供します。

●訪問介護
●総合事業
●障がい福祉サービス

医療保険療養費支給申請ができます

ご自宅や介護施設まで出張施術します

琉球治療院

詳しくはwebを検索! 琉球治療院 検索

お気軽にお問い合わせください
【営業時間 9:00～18:00】 ☎ 0120-680-006

沖縄本島全域、および宮古島、伊良部島、石垣島、八重山諸島、久米島、伊江島で訪問治療します。

治療内容 はり、お灸、マッサージ

メ切
迫る!

那覇社協創立70周年記念企画



作品募集

赤い羽根
手作り募金箱コンテスト

毎年10月から行われる赤い羽根共同募金運動ですが、今年は那覇社協創立70周年記念企画として赤い羽根手作り募金箱コンテストを開催いたします。入賞した募金箱は、那覇市内のお店や施設に設置し募金活動にも使用させていただきます。みんなで赤い羽根共同募金運動を盛り上げていけるよう、たくさんのご応募お待ちしております。

みんなのユニークな
アイデアが詰まった
募金箱で
那覇市内の福祉活動を
応援しよう~♪

入賞者には
素敵な賞品も
あるよ♪



応募対象 那覇市内に住む小学3年生 ~ 小学6年生

応募期間 令和4年8月22日 ~ 令和4年9月22日

提出先 那覇市共同募金委員会 (那覇市金城 3-5-4 那覇市総合福祉センター 2F)

応募内容 赤い羽根共同募金の
キャラクターやマークを使った募金箱。
大きさ縦横およそ20cmで、素材は自由。
※その他詳しい募集内容はホームページをご確認ください→



那覇市社協関連

9月10月の
主な行事

9月29日(木) 創立70周年記念 地域ふれあいデイサービス 敬老の祝い

10月1日(土) 赤い羽根共同募金運動スタート (出発式)

10月13日(木) 創立70周年記念 第46回那覇市社会福祉大会

寄附者ご芳名

一般寄付

- ・那覇保護区保護司会
- ・(一財)泊先覚顕彰会
- ・若狭市営住宅自治会
- ・(一社)那覇青年会議所
- ・(公社)沖縄県獣医師会
- ・(特非)日本入れ歯リサイクル協会
- ・大共港運(株)
- ・(株)ホープ設計
- ・沖縄ガス(株)
- ・(福)彩生会
- ・税理士法人中央会計
- ・宮城愛子 他

おきぎんスマート

- ・ちばりよーな~ふあ
20件 / 8,650円
- ・な~ふあゆいまーる
25件 / 26,900円

令和4年7月1日~令和4年7月31日までの
寄附金状況 (敬称省略)

854,291円

令和4年4月1日~令和4年7月31日

寄付金総額

4,795,815円

編集後記

今月号では那覇社協CSW(コミュニティソーシャルワーカー)の歩み~現在の取り組みを紹介しています。編集作業を通して、過去の様々な写真を見たり資料を読んでいると、改めてたくさんの関係者の方々と一緒に那覇市の地域づくりをしてきたんだと実

感しました!

これからも「困っている人の側に駆けつける、市民一人ひとりの声を大切にすること」を念頭において、寄り添う支援をしています。(垣花)